

学習用の机とは別にひじをつくことができるテーブルを給食時には用い、いすにふかく座れるように整え、脚、ひじを工夫し、フォームをつくりました。一時期スプーンを持つ腕のひじにタオルや箱を置いてふらつくの予防したこともありましたが。それから2～3週間たち安定できるようになり、助けのタオルなど無くてもスプーンの動きが安定してきています。

姿勢がくずれないようにベルト付きの座位保持椅子に座り、カットテーブルをつけています。また、介助皿等の食器をテーブルに固定する台等もついています。これにより一人でこぼさずに食べることができる場面が増えてきました。それ以外には、柄の部分握りやすいものにしたスプーンやフォーク、たうばいのついてスプーンを使っています。

右親指と人差し指の2本が器用で力も強く、コップ取っ手などしっかり摘み引き寄せることが出来る。目の前に提示されたスプーン柄を右手の指5本を使ってぎゅっと握り口に運ぶことができる(落ちにくいものをスプーンに乗せること)。お盆の上に細かくちぎったパンを置かれると両手で掴み口に入れられる。

- ・自助具として、もちやすいスプーンやフォークを使用したり、手を支えています。
- ・手づかみ食べにより、指先でつまみ、口に入れることも上手になりました。
- ・車椅子にテーブルをつけて食事を目の前におく。

うつ向き加減で食べるので、時々姿勢を正している。

両手でコップを持ち、口まで運ぶ途中で手が震えてしまい、こぼれてしますので、肘を固定するように介助し、震えを少なくするようにしました。

本児専用机、食器、スプーンを使用している。食器は井が中心で重みがある。左手で井を押さえて、右手に持ったスプーンですくって食べるよう指導した。

食器を持ち、スプーンを上手に持って食べることができる。

滑り止めシートと介護用食器を利用し、スプーンを食器の底にあてて手首を返して食材を乗せる練習を行った。ほとんど一人で食べることが出来るようになり、今はフォークでつきさず練習に取り組んでいる。

食事を行うときは肘を置ける高さのテーブルを使用し、姿勢が崩れないようにした

バナナスプーンといわれる、角度がついて握りが太い特別なスプーンを使用している。

【質問6】摂食指導の工夫と課題

3. 偏食やマナー、コミュニケーションなどの心理面

- ・偏食はほとんどない
- ・牛乳は好き

食べたいものを指さしできるので、分かりやすいです。偏食はありませんが、好きなものは人のものも取ってしまうことがあるので、配慮が必要です。人の物を勝手に取らず「(おかわり)ちょうだい」のサインが出来るよう指導してきました。サインは出来るようになりましたが、本当に欲しい物はまだ手が伸びます。三角食べはあまりせず、好きなものから片付けていくので、三角食べするよう進めています。

- ・偏食・・・前述
- ・人なつこい性格で、友達との関わりを求めます。時に度を越すこともあります(泣いている友達に、しつこく近寄るなど)・・・時と場に応じられるよう話して聞かせます。

偏食はない。マナー改善しつつあり、きれいにを中心に意識させている。

- ・偏食：パン・・・パンを食べ切らないと他の食べ物に手がつきませんが、ちぎってなるべくゆっくり食べさせ、牛乳も飲ませるようにしています。なるべく色々な食材を食べよう少しづつ挑戦させています。
- ・嘔吐：自分の便のにおいに反応して、又は笑いすぎて吐く事があります。・・・その都度対応しています。

問題行動の質問で記述したとおり、「おえっ」と言って周囲に不快感を与えてしまう事がありますが、無理をさせずにゆっくり食事をするように促しています。

偏食は「〇〇をたべたらまるまるね」という条件を理解できて、何でも食べられるようになった。

いただきます、ごちそうさまでした、などがわかり、できる。(タイマー使用)。
食べこぼしが多いが、床に落ちたごはん粒などは拾ってくれる。

好きでない食べ物を摂取してもらう際、本人の好みのものを視界に入れながら、食べるようにし、偏食を減らす。

- ・「おかわり 終了」を絵カードで伝えている。
- ・食べたりない時に、友達の物へ他を延ばす事への指導が課題

・欲しい物があると、その方向を見たり、手を伸ばして大声を出す・・・だいたい、こちらは何を欲しているのかは分かるが、手を重ねて「ください」というジェスチャーをするように声をかけている。

・はじめに水分を多めに摂取したり、食べたいものを自分で選ぶなど、本人の要求に合わせる事で、食べる意欲を高めていく。

担任だけでなく、友達からの声掛けで、食べるようになってきている。

慣れない場、慣れない介助者だとなかなか食事できない。友達や教師と楽しい雰囲気をつくり安心できるような声掛けをする。

・特に好き嫌いはない。お菓子や甘い物は大好きである。甘い物を食べ過ぎると数時間気分が高揚する。集中力が短くなる。食べる量を調節する必要がある。

偏食は特に見られない

・すぐに食べ始める事は少なく、しばらくたってから働きかけを受け止めて食べ始める。最終的には全部食べきる。気持ちが食べる事になかなか向かないよりそい気持ちを受け止めるようにして、声掛け(働きかけ)をしている。
・教員からたくさん話しかけられたり、食べたいものを選んだりする中で、自ら意欲的に食事に向かい食事の楽しさを味わう。

・偏食やマナーに関しては、まだ重きを置いていない。小学部低学年の段階では、まず「楽しく食べる事」を第一と考えている。ただ、食材を混ぜて食べようとする傾向があるため、それぞれの味を味わえるように、混ぜないで食べるよう指導している。

好き嫌いはなく食べる。マナーについては、「いただきます」の合図まで待てずに、食べてしまい注意を受ける事がある。
出来るだけ自立して食べるように極力構わない。
マナー:基本の力が伸びてきているので、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを教え、その間は、席に着いているよう教えて居ます。 偏食:形態が食べづらいものは、小さくしたり、加圧したり、とりみをつけたりする。味が苦手なものは、大好きな食べ物を励みに少し味見をさせる。
・下に落ちている食物を拾おうとする動作がみられる。
好き嫌いについては、あまりなかったように記憶しています。肥満防止?のため、食べ過ぎないように気をつけていたと思います。
最終的には全部食べるが、食べたい物を要求して(それに向かって手を伸ばす)食べている。食べたくないものには、手で押し返したりして拒否をしている。
偏食・・・ことばかけ、汁気のないものにお茶を少し入れるなど。 マナー・・・ことばかけ。
食器類を払いのけることのないように常に確認しながら、支援する。うまくできたら称賛し、よい行動を強化していく。スモールステップで取り組みを見守る。
苦手な物は「これを食べてからパンダよ」とうように声かけをすると食べることができる。
・偏食はないが、酸味の強い物を食べる時はやや顔をしかめることもある。 ・手で食べようとする事があり、食べ方を重点的に指導してきた。
野菜が嫌いで、給食の時は、食べることは困難でした。カレーやシチューなどスプーンに入っている野菜は嫌がらずに食べることができました。
「いただきます」をするまで待つように指導している。
パンは思いっきり口に詰め込んでしまう。
・以前は牛乳が苦手だったので、牛乳を飲み終わったらごほうびとして、牛乳ゼリーやお茶ゼリーを食べていました。現在は牛乳も普通に飲んでます。 ・食べたい物が有る時は、自分の手でその方向をさしたり、教師の手を持ってそっちにむかせようとするので、わかりやすいです。
・人に興奮する場合もあるので、状態に応じて席を変える。(配膳に並んでいる人がみえないように)等の工夫をしている。
問題行動が見られた場合はタイムアウトや適宜無視をする。
・身近な担任と一緒に食べると、とても落ち着いて食べることが出来る。自分の食べたい物をすくって、食べたい物を教師に伝えて食べている。なれない人と食べる時には、左手で食べ物をつかんで食べることがある。(教師の介助に課題がある。)好きな物を食べた時には目を合わせて笑顔になり、楽しみながら食べている。
野菜よりも肉類や炭水化物の物を好む傾向がある。デザートも好む。スプーンを使っているが、介助用の特殊なスプーンも通常の形のスプーンもどちらでもそれなりに使うことができる、食べたい物に対しては手で指さしたり、声を上げて、「牛乳がほしい」などと意思表示ができる。
特に偏食という物はなく、どんな物でも食べる事ができました。殆ど好き嫌いはない様です。ただ、バナナを一度に19本食べた事があるということですが、正確な情報ははっきりしていません。

苦手な物

- ・肉・野菜・イカ等の固い物
- ・果物
- ・刺激の強い物

偏食はありますが、栄養的に問題があるほどではないので、特に偏食の指導はしていません。それよりも体重管理の点から食べ過ぎに気をつけています。(おかずの残し具合によっては、主食を減らすなど)

お代わりが目にはいるとキョロキョロしたり、お皿を出したりして欲しがる。好きな物はいくらでも食べたがる。

偏食・食べたがらないものもあるが、一口食べて、味が分かると食べる事があるので、最初の一口は無理に食べさせる事もある。

- ・偏食にならないよう好きな食べ物から食べさせる事は控え、順番に満遍なく食べるよう促した。
- ・クラス全体の給食ルールをしっかりと守るよう指導した。

- ・スプーンを投げる前に、深皿に入れる様促す。
- ・「いただきます」「ごちそうさま」のサイン。「ください」のサインの使用
- ・人の皿に手を伸ばす事への注意

デザートが好きなので、まず主食を食べてからデザートを出すという風にした。

教室内で他生徒の動きが見えるようにセッティングする。

配膳をし、期待感を高める。

偏食はほとんどない。

白米、つゆにつけないうどん、うずらの卵、きのこ類は好物。嫌いな物は、好きな物にかくすようにスプーンに盛って渡すと気付かずに食べることもありましたが、気付くと自分で取り除きました。スプーンやフォークを使う様に促すもの、好きなものは手づかみになりがちです。食が進まない時は、食事をしばらく遠ざけて機会を見て促すと、食べ始めることがあります。

給食では少量盛りにし、おかわりという方法で対応

- ・野菜、魚、マカロニ、汁物などを好む、果物など甘いデザート系は苦手。
- ・口に入れても食べたくない物は下で押し出す。
- ・カード学習への取り組みを今年度よい行っている。今後コミュニケーション手段として活用できるように継続して取り組んでいきたい。

・がたがたと音をたてたり、笑いが止まらない、吹き出すなどの場合はみんなで見ないようにしている。場所を個別化して食べてもらう。そのうち落ち着いて食べ出す。

肯定的な表現による声かけ

好きな物を利用しながら、色々な物が食べられる様指導しています。スプーンやフォークの使用もできるようになっていますが、食べようという意欲も大切に思っています。

偏食は特にないが、好きな物を食べたいという要求を出す。それが通らないと怒って他のものを食べないこともあった。「〇〇を食べてから〇〇」というやり方を行いながら対処してきた。

- ・時々ふざけて吐き出すことあるので、根気よく指導する
- ・甚だしく態度のわるい時は当該性と苦手な無表情、恐い顔でどうにあたる。
- ・食べることに声かけで集中させる。
- ・マナーの悪くなる原因になる物を近づけない。

嫌いな物でも、お茶との三角食で食べさせる。食事に集中させる為、視界に興味をひくものをあまり入れない様にする。壁際など。本児の右斜め前から、顔を見ながら接触指導を行う。

- ・偏食はない。マナーについては、「ちょうだい」を場面を作っている。コミュニケーションについては、視線を合わせて「次は、何が食べたい?」「よく噛んで食べます」と必ず言葉かけをしている。

- ・野菜など好きな物は、殻になったお皿を差し出してお代わりを催促することができます。手を合わせて「ください」のサインもできます。
- ・いただきますの前に、食べようとするがあるので、声掛けが必要な時がありました。

給食のメニューにほとんど好き嫌いがなく、食べることができます。マナーに関しては、自分の好きなおかずを食べ終わると、周囲の教員・生徒のおかずに手を出そうとするので、「自分の物、他人の物」の区別をするように指導してきました。自分が食べ終わると、自分の食べ残しや他人の食器をひっくり返そうとすることがあるので、食べ終わったらその場で待つことを指導してきました。

- ・「いただきます」は学級のみならず一緒にする。
- ・残さず食べられる様に声かけをする。自分から手を出さない物は口まで運んであげると、食べることもある。いやがるものは残す。
- ・よだれや、口からこぼしたものはすぐにふきとる。

偏食はないが放っておくと食べ続けてしまう。

野菜が嫌いなので「一口食べようね」等の言葉掛けはしますが、教員との良い関係がとれてきたからこそ、そのような言葉に従う場面が見られるようになったと感じます。「自分の気持ちが伝わる」という安心感が全ての行動に落ち着きをもたらしている状況です。不安になると全部だめになります。

心理的に安心して食事に望めることが一番重要だと思われる。摂食時のみならず、それに至るまでの活動で、落ち着きつつ、学習への過度な緊張感をもった状態で摂食に望むことが大事だと考えている。

食感、味覚を楽しめる分慎重で食べる意欲が持てるまで時間がかかる。食に注意を向けられるように言葉がけし、待つ。食べ始めると集中できるように言葉がけをしている。

食事中周りのことを気にする余り、時間がかかり最後まで食べずに終わることが多い。

自力で食べたい気持ちが強くなっているので、フォークを持たせて食べられるものだけ自分で食べる(要介助)。自力で食べようとするのを認めてほしくて、絶えず発声して周囲の人にアピールをする。そのため、フォークがすぐに口のほうにいかなかったり離席をしたりしようとする。偏食は少なくなってきた。

〈偏食〉

- ・ご飯・ソフト麺・グラタン・牛乳・シューマイ・クリームパン・オムレツを好み、他の主食副食はほとんど食べようとしない。パンは柔らかい白い物は食べるが、くるパンやパサパサに近いパンは食べるのを拒む。
- ・ご飯の中にわずかでも他の物を入れて試そうとすると、激しく拒否し、ご飯そのものを食べなくなるだけでなく、嘔吐やちゃぶだい返しのお盆のまま食器を投げて拒否するために、偏食指導の効果はあまり上がらない。時々、チャンスを見て、食べさせると口には入れてもすぐに吐き出してしまふ。

<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物を汁物や牛乳に浸さない。牛乳や汁を混ぜて食べない。 ・むやみに立ち歩かない。 ・細かい物を手でつまんで食べない。 ・机の下に落ちた物は拾って食べない。 <p>などのルールを家庭と学校とで共有して実施している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで「いただきます」を言う時、必ず手を合わせる様になっている。 ・できるだけ楽しい雰囲気、時々話しかけたりしながら、食事するのを心掛けている。
<ul style="list-style-type: none"> ・好き嫌いはないが、特に好きな食べ物は近くの人の方まで手を伸ばす事がある。 ・周りの人に嫌な思いをさせるような食べ方はしない。
<p>手に届く所に他の人の食器が届かないようにしている。また気分が高揚すると食器やスプーンを投げることがあるので、必ずソバについて落ち着いて食事がとれるようにしている。</p>
<p>偏食はあまり無い。好きな物(甘い物、野菜)以外は一応嫌がるが、結局何でも食べる。</p>
<p>細長い物を手でつまんで食べようとする。芋など苦いばさばした物、つぶして混ぜ、見た目がわからないと平気。見た目で嫌がるが、一口食べると後は平気ということもある。先に欲しい物(デザートや牛乳)があるとひっくり返ってでも要求する。逆に、それを強化子に他の物を頑張らされて食べられることもある。</p>
<p>給食時には、お盆の上に複数の食器があるとひっくり返してしまう場面があったので、テーブルの上には器が一つの状態から、お盆を使ったりスプーンを置くことをしたり視野に入る物を少しずつ増やしていきました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・フライや焼き魚等苦手な物は、①細かくカットして食べる②ゆでキャベツなど好きな物と一緒に食べる③食事前半の空腹感の強い時に食べる④さらにそれだも食べにくい時にとろみや汁物と一緒に食べています。 ・スプーンを放り投げた時は、スプーンを拾い目の前にもっていき見せて、よくないことであると伝えます。
<p>身時間人が良き理解者となった上で取り組む</p>
<p>自分のお盆を給食室に取りに行くと、給食の時間がはじまることが繋がってきており、持ちたがらなかったお盆も教員と一緒に持つようになってきている。配膳中は本児は参加せず、エプロン着用、手を拭く等のセッティングをしているが、見通しが持ちやすいようで協力的である。配膳は10分程度であるが、ジッと待っておられず、ソワソワ。「両手を「いただきます」の形に合わせてから食べる」「口に物を入れた物を出して指で摘み遊びだしたら、即ぐに取り上げる」それらは徹底しています。お皿が目の前があると手掴みのになるので、遠ざけておく。注意されると分かってくれます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな物を無理に入れると嘔吐することもあるので、好きな物の間に隠したり、後半、満腹で機嫌がよくなるとまがって(?)たべることもあります。
<p>手づかみする時には言葉かけをしている。食が進むような言葉掛けをしている。(「おいしいね」「大好きな〇〇よ。」)</p>
<p>目の前にお皿を並べて、手が伸びかけたお皿の食物を教員がスプーンでとり口まで運ぶというやり方で行ってました。「次何が食べたい？」など会話でのコミュニケーションをとりながら行うことで意志表出促しました。</p>
<p>かたいものは避けることがある。マナーでは周りの人の食事に手を出すことがあるので注意が必要である。</p>
<p>言葉掛けやはげましにより、苦手なものもきちんと食べることができる。</p>
<p>デザート類が好きで、主菜の前に食べようとする事があり、その時はごはん、おかずを食べてからと説明し、だんだん理解できてがまんできるようになった。また食事中は好きな話題で楽しく食事ができるようにした</p>
<p>食べ物の好き嫌いは、牛乳を支えにすることで乗り切っている</p>

【質問6】摂食指導の工夫と課題

4. その他

- ・1対1で本人の歩き方をなるべく大切にしながら不安的な時はささえる。
- ・足元をしっかりとし、すべらないようにする。

一気に口に入れて、飲み込んでしまうことがあるので、少しずつ口に入れるように気をつけている。

- ・口腔ケアにおいては、指にはめるサック式歯ブラシを使用し、口内感覚に慣れるようにする。

食べたいものがあるようで、やりとりをしながら食べている。

- ・アレルギーの食品があるため、担任間で食材については充分注意しているが、本人に不安感を抱かせないようにしている。
- ・ものを掴んで離さなかったり、横転などの取り組みで身体に強い緊張が見られる。指や身体の力を上手く抜いていくことも課題と考えている。

歩行が不安定なため、保護帽を着用、手をつないで移動している。転倒に注意している。

- ・スプーンやフォークを一度口に入れると放りだしてしまうことが多く、持ち続けていられるよう継続して指導してきた。本校隣接の療育訓練センターでの機能訓練、寄宿 食事指導、学校での給食時の指導、家庭と連携をとり情報交換しながら指導してきた結果、手放さないで、持っていられるようになってきた。
- ・食べたいものを選ぶ時、いったん選んで口に入れようとした物でも、違う食べ物が気になると目移りしてしまい、次々と違う物を欲しががる傾向がある。例)いったん野菜を食べようとしてスプーンに乗せたが、口に運ぶ前にデザートプリンが気になり、野菜を食べるのを途中でやめてプリンを食べようとした。

車イス介助

好きな物を早く食べたい時、おいしい時は両手をふって表現しています。

- ・食べやすい大きさにカットし、集中して食べる事を促す。
- ・過度な言葉かけを控え、本児の集中力を高める。

嫌いな物を食べさせようとした時など、鼻をさすって、嘔吐をさそうような行動をとることがあるが、その行為にはあまり気を止めず一つのサインとして理解し指導している。

食事の雰囲気を楽しみ、色々な教員に視線を送り顔を合わせたり、みんなの笑い声と一緒に笑ったり楽しく食事することができた。

- ・汁物は、汁と具を分けて配膳しています。
- ・そば粉や生卵アレルギーがあるため、外食には注意が必要です。(給食では使われていない為大丈夫です)
- ・食事を半分に分けて出しています。半分食べ終わったら、お代わりを認め、残りの半分を出しています。(すきな物だけお代わりをして食べてしまう為、終了時間になっても配膳された物が残ってしまう。
- ・腰痛防止の為、食事量を配慮し、ご飯やパンの量をいらしています。大好きな野菜はたくさん摂らしています。
- ・エプロンを首に巻き、服への汚れを防いでいます。
- ・外食時では、家庭からハサミ、特殊皿、特殊スプーン、特殊フォークを持参しています。

食べられるものを広げ、自分で食べられるように練習中である。

牛乳、おかずのみそ汁を好み、それらを飲んでしまわないとごはんやパンの方に気持ちが向かない傾向。

「おかわり」は他人の様子と共に、とても気になっている。ルール上おかわりは1回だけ。

牛乳パックをつぶして牛乳をとばす→皆がさわぐのがおもしろく、牛乳パックホルダーを使用してようやく自分で飲めるようになったが、まだ時々ホルダーから抜いてつぶそうとすることがある。

学校では、よく知っている先生でないと一緒に食べようとしていないことがあるので、できるだけ担任が1対1で対応しています。給食中、他の先生と一緒に食べたいと交代の要求を訴えることがあります。出来るだけ一人の先生で食べ終えるようにしていますが、メニュー等で食事が進みにくいような時など交代して食べます。

- ・器やフォークは特別なものを使っている。
器→すくいやすく、お盆の上を滑らない物。
フォーク→持ち手が太めで、にぎりやすいもの
- ・課題として場面が変わると食べないこともある。(お弁当なども)

車椅子で近い距離は自分で操作し、離れた場所は援助

大人の賞賛を要求するので、一人で最後まで食べることが課題になっている。
やりとりしながら楽しく主体的に食べる。

- ①食形態に配慮しながら摂食機能の向上をはかる。
- ②好きな物は、自分で食べる。

【質問7】日常的な移動のさせかた

同学年の児童と手をつなぎ、並んで行動できる。しかし、歩行が不安定なので、常に注意が必要。階段の昇降はできるが、とても不安定で危険なので常に支援している。

出来る限り独歩をすすめているが、転倒防止の為、場面によっては手つなぎ歩行。

歩行が不安定なので、手つなぎ歩行をしています。芝生の上など安全なところでは一人で、歩くようにもしています。また、転倒時頭を打たないように常にヘッドギアをつけています。

時間がある・・・行く場所を知らせる→前に立って呼びかける。
時間がない・・・行く場所を告げながら、後ろを向かないように、進行方向だけあげる、少し左手をもって誘導。

基本的には声掛けで移動できる。教室の写真を見せて、移動の見通し、を立てることもある。寒い時や自分のやりたいことがあるところは横になって動こうとしないことがよくあるので、そういう時は興味を持ちそうな物を見せて誘ったり、体をくすぐって遊び、そのノリで立たせたりして移動させる。

知的レベルより記憶力や人に対する変化(髪型がかわった、見知らぬ人がいる等)は高い。

介助歩行、右手介助(側嚮のため)

特に問題ないが、やりたいこととやりたくないことで、スムーズに移動出来ない事はよくある。

・階段等で少し腕を支えて、移動する程度、不安定であるが、自力で移動

一声「～に移動するよ」、「次は～の時間だよ」と伝えるだけで、自分で移動できています。初めての場所にも、友達や教師の後ろについていくことができます。

・長距離の時(校外学習など)は車いす。
・校舎内は基本的に歩いて移動

・友達を連れて行くようお願いしたり、前にいる友達を目標にさせると、すんなり移動することができる。
・移動できない時は、「先に行くよ」といった振りをし、様子を見る。

主に介助歩行。遠出をする際は車いす。

・自立歩行
・でこぼこ道、校外の道路は教員と手をつないでいる。

・歩行による・・・転倒することがあるので注意している。また、決まったパターンの中であれば、行く事も分かり、有る程度そこまで一人で行く事も出来るが、(例、教室で帰りの会が終わわり、昇降口を経由してスクールバスに乗る)、そうでない場合には要所要所、言葉かけが必要。

・車いすを使用
・歩行練習の時は、後方から腰の介助

基本的に手などはつながらず、一人で移動させている。(階段の昇降も含めて)。自分の荷物(リュック)は自分で背負わせている。

声掛けや行く方向の指さし、手招きなどで一人で移動できる。

・少々不安定であるが、自立歩行である。特に支障はない。

自立歩行及び車いす(外出時は横からささえて、自立歩行可 母)

車いすでの移動が多い。(体制等の事状から)ただ、できるだけ朝のウォーカーの散歩、スクールバスから教室までの移動日常生活の中で車いすをおりて移動する時間を確保して行うようにしている。

<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく一人で移動出来るようにしているが、いつでも補助できるようにそばにしている。 ・階段などは、声をかけて手すりを使い一人で上り下りできるようにしている。
<p>わずかな段差や平らなところでも前につまづくことがあるので、そばに教師が付いての移動を常に心がけている。</p>
<p>自立しているので…声掛けや、トイレの時の写真カード等</p>
<p>在校中はヘッドギア着用。自立歩行ができ、介助なしで床から立ち上がったり、座ったりできるようになったので、一人でどんどん動き回れるようになった。安全な場所では、目的地を教え、横に並んで一人で歩かせる。危険なところでは、手をつなぎ転倒を予防する。階段は手すりにつかまれば、昇りは一人でできる。降りは視覚的にも恐怖感がある様子。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・階段の昇降は片手をつないで昇降を行う。昇りは一足歩行ができる。 ・教室内や教室間も、片手をつないで移動するが、廊下等直線で安全が確認された時には手を離し、独歩を促す事がある。
<p>毎日ではないが、声かけで提示すると自分で移動できる。例)車イスに乗る。トイレに向かう。</p>
<p>足下が不安定だった為、転倒のないように注意をしていました。特に階段や段差のあるところは必ず側について一緒に移動をしていました。必要に応じて、手をつないだり、腕に手を添えたりしていました。</p>
<p>基本は車イスの全介助。トイレから教室まで等の短い距離では介助歩行で移動することもある。</p>
<p>体調が良い時…教師が一人付いて、歩行介助で歩く。 体調が良くない時…車椅子使用</p>
<p>手をつないで。または、後方にて支援。</p>
<p>日常的には栗真イスに乗って介助者による移動であるが、自分の行きたいところに自由に移動してよい時間を設定し、自分で移動したいという意欲を育てるようにしている。また、保健室に健康観察簿を届ける仕事や、朝の会の時に天気カードを教師に渡す仕事などを担当するようにして、自分から目的を持って移動しなければ行けない場面を設定している。</p> <p>車椅子から下りて移動する時には、介助者が支えての介助歩行を行っている。足首が内転して拘縮しているため、かかとが床につきにくく、重心が後ろに倒れやすい。そのため、重心を前方に保つことができるよう、介助者が背後から手で腰部を押させて歩行するようにしている。</p>
<p>歩行がしっかりしていたので、段差のない所であれば、一人でスムーズに有ることが出来ました。筋力面において、筋力が弱いため、自分の体を長時間、歩いて保つことは難しく、長い時間歩く時には(ウオークラリー等)ころびやすい面がみられました。</p>
<p>一人で歩いたり、友達や先生と手をつなぎで歩く。階段は両手で手すりを持って昇降する。</p>
<p>周囲が落ち着いている時は歩行。ざわついて居る時は車イス。</p>
<p>校内…車イス、手引き歩行、独歩 校外…車イス</p>
<p>・基本は教員が必ず付いて一緒に移動している。階段が無く、フラットな場所であれば、場所が分かっている、自分で移動できることもあるので、その時は一人で移動させている。</p>
<p>筋力低下防止のため、児童が出来る移動方法で移動するように支援する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・可能な時は、教師を手をつないで歩行している(軽く右手をつなぐと安定した歩行になる) ・また、車イスに座って移動もしている。

車イスに乗っての移動。排泄時などは前からの介助歩行で便器に座ることが出来る。じゅうたん上では言葉とジェスチャーで「こっちへおいで」と呼ぶことで移動することもある。
言葉による移動先の理解が校内では出来ているので、声かけで可能でした。
教室以外は基本的に教師が手をつなぐか、腕を取って移動しています。独歩は可能ですが、ほんの少しの段差や傾斜でもつまずき、バランスを崩して転びやすいです。興味を引き物があったりするとそちらへ行きたがったり、歩きたくない手すり等につかまって抵抗することもあります。
特別教室など「〇〇へ行く」ことが分かっている様で、ある程度自分で移動できる。また、友達先生を見て行動する事もある。
車椅子か補助(片手を持つ)で歩行する。
①歩行時に上体を起こそうと、つないだ手を引き上げるとそれに頼ってしまい、上体を前にあずける様子が見られたので、逆につないだ手を引き下げたところ、自分から上体を起こす動作がよく見られる様になってきた。 ②長い距離になり筋緊張の亢進が懸念される時は車椅子を用意し様子を見ながら兼用する。 ③後ろに寄りかかり両腕で上体を支えるウオーカーを作成したことにより、上体を起こした歩行姿勢がとりやすくなった。しかし、身長が伸び両腕を伸ばして体重を支える事が困難になり膝の曲がりが大きくなってきたので、3年生からウオーカーの使用は控える事にした。 ④先にも書いたが興味をそそられる物が目に飛び込んでくると、その場に座り込んで動かなくなってしまう事が多いので、本人の好きな風船や本などのグッズを用意しタイミング良く提示しながら注意の切り替えを促す。 ⑤朝の運動の時間では、プラスチックのビールケースを2つ用意し、1つに座らせもう1つを前方に置いて目標とし、見通しを持たせながら歩行練習を行った事により、座り込みをすることなく長い距離をこなせるようになった。
・手つなぎ、もしくは近くで見守る。 ・階段は手すりにつかまらせる。あるいは手つなぎ。
自分で出来るところは自分で、自分の荷物は重くても自分で持って・・・ということぐらいでしょうか
校外学習で移動が多い時は、車椅子を準備するが、基本的には歩行で体調により介助しかたをかえる。(脇を支える、手をつなぐ、安全を確保しつつ独歩)
単独で歩いて移動できますが、教員がすぐ横にいと、腕を組んできて頼ってしまいます。階段昇降は手すりを持たず、ひとりです。いすを両手で持って移動することも出来ます。
・PCWでの移動 ・片手介助での歩行
疲れすぎの所で歩行移動。自分から車いすを選ぶ時があるのでそれも考慮して対応
つまずきそうな所は手をつなぐが、一人で歩行して移動。
保護者の方から支援の方法を教えもらい、実施している。一つの方法ではなく、色々な支援をする様に心掛けている。
なるべく、歩行で移動させるようにした。その時は片手をつなぎ(腕が上がりがちなので、なるべく下で手をつなぐ)。安全面に配慮する。また長時間、移動する場合は、椅子を使用した。
車いす 介助歩行 ずいばり

<p>ほぼ手をつないで移動。こちらからつながないでも、つなぎにくることが多い。階段では自分で手すりを持つ。無い所では手をとる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇に行きます」と場所や人物の写真カードを使って移動の手だてとしている。危険を避ける為に手をつないだり、すぐに助けの手が出せるよう常に注意を払っている。 ・歩いていて楽しくなるように好きな歌や好きなリズムを聞かせたりしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・安全な場所では自力歩行をお粉低ますが、人とのぶつかりが心配な場所や凹凸のある場所では、傾斜し易い右側について脇を抱えた介助歩行を行っています。 ・校外に出た場合でも主に介助歩行を行っています・専用の自走式車椅子は、非常時に備えて常時持って行っていますが、ほとんど使うことはありませんでした。修学旅行の3日目に短時間使用しました。 ・頑張っ歩いて欲しい時には、後方から抱き起こすようにすると頑張っ歩き通すことができ、自信にもつながったよう達成感を感じ満足そうな表情を見せていた。 ・帰校後は、絨毯に座らせたり、横にならしてマッサージやストレッチを行いいリラックスさせた。 ・脚力も付き、自分から動こうとする場面が増えてきています。 ・昼休みなどは、自走式車椅子操作を楽しむこともありましたが、主に放課後の学校活動を離れた「はまっ子」活動で取り組むことが多くありました。
<p>日常の移動は階段も含め、ほとんど歩行による移動をしていました。ただし、歩行速度が遅いので、緊急時はエレベータを使用する時もありました。</p>
<p>登校、下校は車の時もある。校内では介助者がつき自分で歩く。</p>
<p>歩行での移動、階段昇降等一部不安定。介助が必要な場面もある。</p>
<p>特にありません。とっさの時に対応できるようにだけしています。</p>
<p>訓練として独歩の時間を毎日とっている。他の時間においては車いすでの移動が多い。車いす、畳上の間の移動を意図的に多く行い、姿勢変換の能力や、立ち座りの筋力向上を目指している。立つ意欲の減退や、危機回避の観点から、保護者は手漕ぎ車いすの使用に抵抗を持っている為、自力での車いす移動は行わない様にしている。</p>
<p>短い距離や本児が行き先の理解ができる教室移動についてはなるべく歩行で行っているが、車椅子での移動の方が多い。</p>
<p>自力での歩行、走行。階段を下りる時は自ら手すりを持ち突っ張る様にして降りるが、介助はいらない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・介助なし ・階段では手すり使用
<ul style="list-style-type: none"> ・転倒もほとんどないので、独歩。活動や移動によって友達と一緒に手をつないで歩く。 ・三輪車は本人が大好きで、上手にこいで行きたい所へ移動している。 ・自転車(コマ付き)は練習中。
<ul style="list-style-type: none"> ・校内ではどこへ行くのも車いすで移動して生活している。 ・家庭でははいはいで移動している。
<p>視線を前に向けて、歩ける様に支援している。児童の顔の近くで教師が視線をさえぎり、前を見て転ばない様に支援している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴ると行動させる。 ・4年生になり「立って」より「起立」の方が立ちやすい。 ・次の学習場所を話す。
<p>歩行はできるが、前のめりになるので歩行バランスが悪く、発作があり、急に転倒することがあるので、必ず手をつないで歩くようにしている。</p>

<p>目的地を写真カードや(含むスケジュールカード)実物で指示し、教師は後、側について歩く。教室移動の時はペアの友達と手をつないでいる。</p>
<p>必ず手をつなぎ「行きたい所へは行くけれど、先生といっしょね」と話でのひらの強さ、にぎる力の強さ弱さで会話をするように心がけ行動しました。歩行中、意に添わないと座り込んで動かなくなったこともありましたが、立つよう、体を支え言葉と伴に支援しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめお断りしますが、児童を移動させることが原則ありません。歩く練習を一緒にしたり、トイレへ歩いて行くのを介助しているだけです。 ・移動時はヘッドギアをかぶり、後方から本児としっかり両手を握り合せて介助する方法と本児の右側に立って、本児の右手を教師は左手でつなぎ、右手はフリーにして、つまずいた時に対応出来るようにし、常に本児の前方と足の運びを見て歩く方法のいずれかです。
<p>平面での移動は独立歩行。2Fまではスロープ昇降又は、階段昇降、どちらも昇りは危ないが、降りは加速するので注意。いずれも必ずマンツーマン。独立歩行は500mを一度休むぐらいで、続けて歩ける。足元や間口の狭さは見ないのでぶつかって転倒の恐れ有り。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子での移動です。 ・教室の中や近くは、教員と一緒に支えての歩行で移動します。
<p>一人で歩かせている。(あまり手をつながない)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・平坦な道では一人で移動。段差は声掛けで乗り越えることができる。 ・階段の上り下りは手すりを持って一人で歩くことができるが、先生、友達の手を取りに来る。
<p>言葉掛けの他、日課カードを見て、自発的に移動できることもある。椅子を持っての移動もずいぶん安定したが、教師がついて転倒しないよう配慮している。</p>
<p>自力移動として主に、肘這い、ウオーカ環境を設定して、教員が後ろから脇を支えての介助歩き、キャスターを使つての四這い、その他として車椅子。</p>
<p>通常は独立歩行であり、階段の昇降時は段差等により手すりあるいは手つなぎが必要な場合もある。</p>
<p>毎朝の運動や、お母さんとの散歩で体幹がしっかりしていたので平地での歩行は介助なくできました。目的の場所を伝え教員が離れたところにおいて、本人が向かう・を繰り返すことで高3の時点では生活コースの教室には荷物を持たせれば一人で移動できるようになりました。</p>
<p>主に手つなぎでの補助歩行</p>
<p>移動はよほど安全な場所以外は、大人が手をつないでいる。体重が標準よりオーバーしているので、肥満を解消するように、家庭にも呼びかけている。(とても体のバランスが悪いため、転ぶと危険なので)</p>

【質問8】知的障害における特異点、隠れた才能

したいことについては、一度うまくいなくてもあきらめずに何度も行おうとする。人が大きなリアクションをすることをとでも喜ぶ。これらのことは、マイナスに表れると固執やしかられて喜ぶという結果になるが、「うけいられる行動」の中で興味をもてることをさがしたり、賞賛する時にのみ大きなリアクションをしたりするなど指導者が留意すれば、隠れた才能の芽は伸びるのではないだろうか。

- ・散歩では、休まずよく歩き、集団の先頭にいることも多い。
- ・常に周りの人の様子をよく見ていて、自分に関わることには、表情や動作で適格に表現出来る。

細かい物をつまんだりすることが大好きで、床に落ちている髪の毛やシールはがし、どんぐり拾いなどは集中していつまでもやっています。

- ・人の顔は忘れません。5年ぐらい前一度あっただけの人でも覚えているらしく、会うとうれしそうに近寄っていきます。
- ・好きな物は教師が目の前で隠しておく、その場所をいつまでも覚えていて2～3日後でも取りに行けます。
- ・好きな食べ物(エビ)は大きなお皿の中に浮いていてもさがしてすくうことができます。

リズム感がよい。音に対してするどい。

知的障害における特異点はわからない。パソコンの操作(やりたいソフトのアイコンや終了「ボタンをクリックする)はほとんど教えていないのに、自然に身に付けることができたところに、優れた才能が隠されているような気がする。

体温調節の為に水分補給や汗をかいたら着替え等まめに行っている。

- ・人の表情を読み取る
- ・笑顔で人を幸せにする

パズルがとてよくできる。絵をみてではなく形をみて判断出来る事が多い。

素晴らしい笑顔で人を引き込みます。私は彼に色々教えられた気がします(自分の至らなさを)。それが彼の才能ではないでしょうか。

ものまねが上手く、覚えも早いと感じています。

とにかく数回で見通しをもつことができる。手順を良く覚える。

- ・いつもニコニコ天使のような笑顔
- ・作業的な活動においての集中力はすごく、時間いっぱい集中して行える。(課題、活動の内容を理解する)

視界が狭いと思われるが、自分の好きな物は、他の者が気づかなくても、たちどころに気づく。

- ・帽子を嫌がって、かぶせるととってしまう。
- ・基本的に人なつこい。
- ・気分が良い時には手を引き寄せたり、相手の顔を引き寄せたりする。
- ・気分が乗らない時は、排除する動きをする。
- ・振れば音が出る楽器(鈴、ベルなど)を振って、喜ぶ、音を楽しむ。
- ・単純なおもちゃ(例: ボタンやレバーを押すと動く)を理解して遊び楽しむ。

人を観察し、誰が何をしてくれるか等の判断が早いし適格。

- ・髪の毛など細い物を摘む。集中すると細かい作業ができる。

- ・記憶力はあると思います。
- ・幸せそうな笑顔
- ・きらきら輝く目
- ・幼児期は髪の毛は金髪(今は黒い)
- ・普段はよだれが出ますが(リラックス時)、電車に乗るなど、外出時はよだれは出ません。又、排尿もとなくなり。(排尿はもともと、日中はあまりでなく、夜間(睡眠時)に沢山出ますが・・・)睡眠時に汗を沢山かきます。
- ・人を見る目があります(いたずらする時など、人を見て、いたずらしています。 母

<p>興味有る物に気付く力(以前そこにあったことを記憶していて、迷わず向かうことも物に集中する力に驚くことが多々あります。</p>
<p>・隠れた才能ではありませんが、気付いた事を書きます。…発音はないが、日常生活の中で言語理解は高いと思われる。相手の表情を読み取り、状況をよく理解できています。写真カードなどの補助教材を使うと、上手く要求を伝える事ができます。</p>
<p>あくまでも私個人の感想ですが… 特異点: 注意の転導性の強さが、成長のネックとなり、他の優れた力を発揮できなくなりがちのように思います。 才能: なんと言っても人への親和性の高さ、課題や活動に対する川の良さ、笑顔(困った時にも笑ってしまうのだとしても)を向けられると単純に愛らしいと感じてしまいます。</p>
<p>・周囲の状況をよく見て、人の表情にも注目している。 ・笑顔で人なつこい所。</p>
<p>観察力: 知らない間に、観察をして、新しい動作を身に付けていることがある。</p>
<p>2年間担任させていただきました。何も分かっていないように見えて、実は先生方の話を良く聞いており”感の鋭いこだった”と思います。自分に都合の悪いことなどは、先を見通して先手を打った行動を取ったりしていたこともあったように記憶しています。周囲の変化にも敏感でした。</p>
<p>・行事など場面をとともよく理解して行動できる。 ・イキイキとした反応…笑う、拍手、意志がはっきりしている(イエス・ノー)。思った事はすぐ行動に移す。人なつこい など</p>
<p>・洞察力や観察力が鋭い。 ・感受性が豊か。良く笑う。 ・活動に対する意欲が高い。</p>
<p>もっと知的な障害が軽い生徒でも場の雰囲気をつかめない生徒が多くいる一方で、本生徒はまわりの雰囲気を非常に敏感に察知し、自分の行動を変えることができる。 (例)・学校の儀式、避難訓練、生徒集会などの話し合いの場面…等々、「この場は静かにしているべき」というところで、声を出したり過度に動いたりすることなく、落ち着いていることができる。 ・教師同士などで、本児の指導について情報交換を行っている時に、「何か自分に関わることを話しているようだ」という雰囲気を察知し、心配な表情になることがある。</p>
<p>人に対して好き嫌いがはっきりしていました。表情で相手の気持ちを理解できておりました。</p>
<p>・一度関わってもらった先生はずっと覚えていて、会うと友好的に関わっていく。 ・シール貼りやベグさしなど細かい作業でも、とても集中して取り組み続ける事が出来る。 ・人懐っこい。人に対してお辞儀をよくする。</p>
<p>本等をよく見ていること。</p>
<p>観察力が鋭いです。どこに何があるか把握しているようです。朝、本児がいない時に目に付かないように教卓の棚に置いたアルバムを本児だけが見つけてきました。小さな音(ページをめくったりする音)にもきづいて振り向いたりします。</p>
<p>うすい本は破ってしまうことが多いが、厚い本はページをめくったり、絵を見たりして、楽しんでいる。最近は時に絵本を見るのが好きである。 ・本人の身近な人への愛着行動、人なつこさ、愛情表現はとても良い点だと思う。誰にでもするわけではなく相手をよく見ている。人にかかわる力をさらに伸ばしたい。相手の表情もみれるようになってきている。 ・笑顔、真剣な表情、(しかめっつら)などとても表情が豊かである。 ・周りをよく見ているため、3回程度学習することで、身に付けるものがある。 ・安心した人との学習、落ち着いた環境、ひとつずつ整理して伝えたりすることで力を伸ばす。 ・相手の様子をよく見ていて、教師の動きをよくみてその後同じようにまねることがある。</p>

誰かが室内に入ってきた時など、敏感に察知できている。その場の雰囲気を読む。今風に言えば「空気を読む」力に長けているように思う。
咳をしている人がいると必ず背中を叩きに来て「大丈夫か」と言えませんが、優しい表情で心配してくれます。その時は、普段コミュニケーション手段として叩く時の様に力強く叩くのではなく、叩き方も優しく叩いてくれます。
作業を粘り強く行う事が出来ます。校内実習では、2週間終日作業となります。本生徒にとっては長時間の作業となりますが、日を追う毎に作業時間が増えて、集中できるようになります。疲れて半分眠っているようなときですらもうろうとしながら手動シュレッターのハンドルを回したりしました。他の学習は、他に興味が逸れて長続きしませんが、作業は続けることができます。
キーボード(マイク付き、カセット録音付き)を使って、音を楽しむ。ノイズ系音楽の様な曲を作ることができる。音楽から受けた時の感受性が豊か。(演歌、クラシック音楽でも可)。大人がする機械の操作等をよく見ていて、それをまねて、自分で操作しようとする。
<ul style="list-style-type: none"> ・人が大好きで、人の思いを察して状況を理解する力に優れている。そして、いつも誰に対しても何の不安や疑いもなく全身で親愛の気持ちを表現してくれる。 ・どんな物でも遊びの対象にでき人を介して楽しむ事ができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・目や口の表情、身振り、直接行動、指さし等で、感情や要求の表出手段が豊か。伝える事が上手。 ・友達のしぐさを見た瞬間まねる事が上手。
ゆっくりでも、確実に成長していくと感じられた一年でした。繰り返し取り組む物については、その手順や工程を覚えていきますし、2度目の時には、1度目にやったことを覚えていて、取り組みがスムーズにいくという場面が何度もありました。また、はじめは尻込みしてやろうとしないことでも、こちらがやってみせ、あるいは友達がやっているのを見て、楽しそうとわかると、自ら意欲的に動きだせます。色々な事への興味関心もあり、時にそれが高まりすぎてはしゃいでしまうこともあります。うまく整理してあげて、方向性を導けば落ち着いて目の前の課題に取り組むことができると実感しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・好きなことを長時間、継続して行う <p>1学期・・・教室にあったパズルをやりたいと要求 A4版の12片のパズル 4, 5種類。根気よく続けるうちにレベルアップし(15×15サイズで20片)指先もよく使えるようになった。→プレザーのボタンかけ、あきらめずにやり通せるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達がやっていることをやりたいと要求し、それが友達と同じようにできるようになりたい！！とがんばれる。
<ul style="list-style-type: none"> ・観察力があり自己の感覚に合った物を見つけ出す。 ・感受性の豊かさ、音楽の好みもあり自分で選び、相手の受容度もたしかめている。 ・笑顔が周囲の人達になごやかなムードを与えてくれる。
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に対して反応が抑、CDをかけたり、ギター之音が聞こえたりすると、曲にあわせ、体を上下に揺らしたり、腰をふったりしてリズムをとる。 ・日常生活において視覚より聴覚(言葉)で理解していることが多いと感じる。
初めての集団でもすぐに入ることができ、いつもにこにことして誰からも好かれる性格です。色々な物に興味があり、直接的に行動しています。大人に甘えられ、遊び合えます。友達にも好かれています。周囲をよく見ていて、大人がちよっと失敗したり、こけたりすると大笑いしてくれます。
隠れた才能というのではないが、実に学習に積極的で集中できる児童だと思う。メインティーチャーの言動をよき見聞きし、学習に期待する姿は素晴らしい。また、リズムの学習でも、音の大きさ、速さ、リズムの持つ雰囲気などを感じ取る力があり、授業そのものを盛り上げてくれることも多かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・人を見る力がある(洞察力がある) ・遊んでくれる人、羽目を外させてくれる人を見分けて、明確に喜びを表す
<ul style="list-style-type: none"> ・母親の写真カードを用意している。担任が他の児童の保護者と話していると、黒板に向かったかと思ったらその児童の母親の写真を持って見せてくれた。 ・「今日は、ママの迎えじゃないよ」とレスパイトの写真を手を持って担任まで見せに来た。

・誰も教えていないことをやってみせる。

1. スプーンの柄を持った手で180度回転させて、正しい向きにスプーンを握り返すことが出来た。
2. 卵の実を傷つけずに殻をむくことができた。
3. 人をいやす力を持っている。
4. 眠りについて時でも、思い出し笑いを見せているようです。

音楽が好きで聞こえるとすぐに体でリズムをとって楽しんでいる。

発達に比較し、洞察力があり、周囲の動きや環境の変化等に際して行動することができる。

生活力のようなものに優れていると感じます。型はめやマッチングができなくても、雑巾掛けの後、バケツの水に雑巾をいれたり、何とか一人で衣服を着脱しようとしたり、人の話にうなずいたりという感じでいつも関心しています。

言語理解能力は高く、本児にとって都合の悪いことを職員同士で話していると声をあげて怒ったり、自分に注目させようと手を伸ばして触れて来ようとする。話の流れを良く理解しており、タイミング良く動作や発声で応えることが出来る。音楽的な拍子感をよくつかんでおり、曲に合わせてタイミングよく合の手のように手拍子をうったり、曲のテンポに応じて上半身を揺らして踊ったりすることが出来る。

表情が豊かで、明るく、場を盛り上げ色々なことにとっても積極的でまわりをどんどん引っ張ってくれるリーダー的存在で授業や日常生活でもクラスを中心である。

・日常生活の様子や発達検査の結果を見て感じているのは、認知面の発達のでこぼこが少ないということであろうかと思われる。
・生き物(特に昆虫)が大好きで、入学した頃は見ているだけだったが、最近では自分で触ることができるようになってきた。
・「今、何をするのか?」という状況の把握が他児と比較してとても早い。→その為、待ちきれない状況が多くなってしまっているのではないか。

・人のまねをして、すぐに何でもやろうとする。例えば、洗剤の出し方を覚えると、家に帰って洗剤を全部洗面所ですそととする。
・絵本の読み聞かせに興味を持って聞くことができる。
・まわりの様子をいつもよく見ていて、まわりの空気が読める。まわりの人が咳き込んだりするとすごく苦しうにしていると、心配そうな顔をする。

・保護者や介助者、教来て師の話の内容(特に自分についていやなこと、悪いこと)はよく分かるようです。
・「アンパンマン」「エルモ」「おはよう」等、好きなキャラクターや友達とよく話す言葉は発音しやすい要です。
・前時に学習したことを覚えていて、自分から課題を持ってきて、やろうとすることがあります(例、スキルブック)

・1日の流れ、活動の流れなど良く理解も自分で雨後行くことが出来るようになっているが、時々覚えているはずを思っていた場面でスポンと順がわからなくなり、混乱することがある(トイレでの動作の順、手洗いの場面での動作順など)
・日頃と少しでも変わっている所があると必ず気が付く。教室に新しい物があるなどそれを求めて行動する時はおどろくほどの注意集中力と操作性を発揮できる。
・友達に他傷をする反面、気遣うこともできる。泣いている友達がいると顔をのぞき込んで声をかけてあげる。

色彩や音楽に触れるのが好きなようです。親しい人は顔や声でわかり、近寄っていけます。遊具で遊んでいても、時々担任の教師の存在を確かめるように眼でさがし、5~6m離れていても顔を合わせようと遠くから見ることがあります。

・特異点と言ふ言葉の意味はよく分かりませんが、本児には、自分と同じ目線で本気がかかわってくれる人を短時間で見抜く確かな才能があります。人見知りのある本児ですが、自分が関わってくれそうと判断した時は、あまり人見知りしなかったり、ごく短時間で慣れて遊ぶことができます。

笑顔(みんなの気持ちが明るくなりました)

人を笑わせることが好きなのは？発声で気を引こうとしてアイコンタクトしながら、ずっと声を出し続けることあり。「バ？」と笑顔で相手の顔をのぞき込む。コップのお茶をブクブクして「やめて～」というと笑って余計にする。好きな人を見つけると笑って「あ～」と話しかけている。その人が近づいて来てくれると方に腕を回して、顔をのぞき込み表情をクシャクシャにして笑う。座っている人にわざと転がってきて体当たりしたり足で蹴ったりして相手をひっくり返して笑う。楽しいこと(好きな音楽が大音響でかかると、目の前でポンポンを振って踊られる)があると親しい人の顔を見て笑い、手を伸ばす。

・記憶力、人については特によく覚えています。
・注意集中が短いというように症状として書かれていましたが、かぎをかぎ穴に入れる、ねじをとったりはめたりするというようなオモチャで20～30分ずっと遊んでいることがあります。

本物の機械に対しての興味(携帯電話、パソコン、テレビ、オルガンなど)はとても強く、操作(?)への意欲は高く、集中力もあります。
ただ、高価な物が多く、こわれた物には興味が無いので、すきなだけ、さわらせてあげることができないのが残念ですが。

特に感受性が豊かです。

人の表情を見るのが好きで、相手の顔をみながらいたずらをするという場面が良くあった。

周りに常に意識を向けており、他の児童に指導している言葉も聞き逃さずに同じ行動を取ったりしている。

興味のあることや好きな物を手にしようとする時は実に粘り強く取り組み、自分なりに試行錯誤しながら手に入れることができる。学習能力が高く、意図的に教えたことがないようなことでもいつの間にか身に付けていることもある。

内言語を沢山持っているので、心が豊かである

【その他】 自由記載

- ・データ打ち込みの方が、書きやすかったと思います。
- ・乱筆ですみません。
- ・まとめられたデータを担任にもフィードバックしていただけると助かります。

おこられたり、注意されたりすることも人が関わってくれるうれしいことなので、それが刺激になりもっと、もっとおこられることを・・・というところが課題となってきています。

これを言われたら、このように行動するという自分なりのことば(音声言語)と動きの組み合わせがあるようです。例えば『ダイエット』と言われたら、普通学級で取り組んでいるトレーニングの1つである『スクワット』の動きをすることや、『フラダンス』と言われたら、『腰を振る』など。

- ・非常に感受性が豊かで、人なつく、友達や教師と毎日、たくさんの関わりをもって過ごしています。音楽が特に好きで、授業の中でもそうですが、曲がかかると手拍子をしたり、隣にいる教師の手を取って、全身でリズムや雰囲気を楽しむ楽しんでいます。終わると、真っ先に拍手をして、楽しかった気持ちを全身で表現しています。
- ・場の雰囲気をよく感じ取っています。クラスの内、友達が落ち込んでいる時がありました。(その場に居たのは本児と教師一人)。すると、その様子をよく見ていて、一緒に神妙な面持ちで黙って座っていました。しばらくして、その友達に教師が「〇〇くん(本児)も心配しているよ」と声をかけると、少し表情が和らぎ、それを見て、近くまで急いで行って、顔と顔を近づけるようにして、気持ちを通わせ合っている・・・そんな場面もありました。

本生徒は日常3名の教員(生活グループ、生徒は7名)で指導に当たっています。今回のアンケートについても3人で話をしながら回答しました。質問の内容が難しかったので、適格に回答できなかったと思いますが、参考になれば幸いです。乱文乱筆にて、失礼しました。

- ・多動・衝動性が強い、根気強く継続指導が必要と思われる。
- ・飛行機・遊園地の絶叫マシン・ゆれる乗り物・小型船等乗り慣れない乗り物に乗る事を苦手とする。
- ・今までに経験した事のない感覚、大きい音などに敏感に反応し過度の筋肉の緊張が見られた。
- ・東京タワーなどの高所も苦手である。景色は見たいが高いところはきらい窓に近づかない。

感受性豊かで、人との関わりを持ちたがるところを大いに評価し、有る程度長いスパンで継続指導する事で、集中力が増し、社会性を持ち、ルールを理解する事ができると思われる。気を引こうと不適切な行動をしている際に知らん顔をしていると時としてエスカレートしてしまう事があった。(うまくやめさせることができたこともあったが・・・)性的関心を持つ年齢でもあり、周囲が足並みをそろえ、共通理解の上で接する必要がある。

- ・1才・・・滋賀県守山市、整肢園にて脳性小児マヒと診断される。
- ・4才～15才まで紫香楽国立療養所に入所(小学、中学併設)
- ・15才～18才まで近江学園入所(高等部に通学する)(16才側わん手術施行:滋賀県守山小児医療センターにて)・・・良く肺炎になり入院しました。
- ・18才～27才:第2びわこ学園入所・・・誤嚥の為、肺炎になるとのDrの指示で水分補給はゼリーに変更になりました。(味噌汁等汁物はとろみを使用) 母)
- 〈母の願い〉
- ・他のアンジェルマンの方達のお役に立てたら幸せに思います。
- ・せめて、一言でも良いから言葉を発してくれないものかと思っています。言語訓練を受けても年齢的に遅いでしょうかね。

先生の質問、アンケートの意図を十分に汲み取っての回答にはなっていないかもしれませんが、アンジェルマン症候群の児童生徒等の今後の理解に向けて、何かお役に立てればと思います。今回のアンケートの記入が良い機会となったといえるように今後、更にしっかりと児童に向き合っていきたいと考えています。ありがとうございました。

- 20歳の頃には、出来ない事が28歳の今、出来ると言うことがある。
- ・紙を使っの遊び
- ・人とのコミュニケーション(やりとり)の中で、先読みをしたあそびができる。
- ・催し物があると、準備段階から始まることを先読みし、場所を陣取る。
- 知的発達は今も続いていると思う。

私がS君を担当していたのはもう15年近く前のことになりましたが、当時の事を思い出しながら記入させていただきました。記憶が定かでないもの、又、思い出せないこともありその点については未記入のまま提出させていただきます。お役に立てず、誠に申し訳ございません。

現在、本児は小学校の特別支援学級に在籍しています。本年度、本児を含む5名の児童を担当である私と午前中のみ支援員1名で担当している為、十分に支援できているとは言えない状況です。また、私は今年度(4年生時)より担任になったため、やっと本児とコミュニケーションがとれはじめ、本児の表すサイン等を理解しはじめたといえるところです。そのため、記入出来ることが少なく、申し訳ありません。

明るく人なつこい笑顔でみんなを明るい気持ちにさせてくれます。学習においてもよく興味をもって見ているようですが、興奮しすぎてなかなかこちらの指示が通らないことがしばしばあります。また、その声で何でも楽しんでいると捉えがちで本当に彼にとって興味のあるもの、楽しいことや物はなんだろうと悩みながら日々の授業を行っています。

アンジェルマン症候群のよくない行動をコントロールするために医療との連携を行い、成果が上がった例があるか、教えてください。

本生徒はアンジェルマン症候群の特色でもあるが、非常に表情が豊かで、教師などまわりの大人に対してコミュニケーションを求める行動も多く、周囲の職員(教員、寄宿舎職員・清掃会社の方等まで)からかわいがられ、愛される生徒である。明確な有意の発語は無いものの、表情や行動、仕草による表現が多様であり、周囲の者もおおよその気持ちを察することが出来る為、意思疎通が一方的でなく、相互の交流が持ちやすい。介助者の意思や指示についても、言葉では難しいものの、ジェスチャーや表情、声色を変えての指示などが有効であり、一定期間本生徒と交流を持つとある程度こは伝えることが可能である。

様々な技能なども、動きが活発で好奇心もあることから、「1回目の成功」に達することは比較的容易である。しかし、同じことを要求されると本人が飽きることもあり、珍しいこと、初めてのことについては好奇心を持って取り組むものの、同じ仕事を継続して毎日行うことは不得意としており、せっかくなのでできるようになったことでも飽きてやらなくなるという場合がある。

このことから、本生徒の好奇心や意欲をうまく活用して、「常に完全にできることをめざす」のではなく「ある程度できることを増やしていく」という方針で臨むと、全体としてバランス良く力を向上させられそうである。しかも、接触指導の例からも言えるように、「医療(機能訓練)」「学校」「家庭」(本校の場合は「寄宿舎」を含む)といった本生徒に関わる全ての立場の人が一致した姿勢であったと教育的効果が増すようである。

アンジェルマンは、いつも笑っていると思われがちですが、一緒にいるとそんなことはなく、楽しいことが有れば笑い、悲しい時には泣きます。本児は喜怒哀楽がはっきりしておりました。私は10年ぐらい前、本児が高等部2年生の時、担任しました。私の記載は役に立てるかどうかが不安ですが、Aさんを思い出して書きました。

- ・興味を持つ物に対する集中力、行動力は目を見張る物があります。
- ・3年生の時に、1年間一緒に食べていた給食介助員さん(1年間一緒にいても、1週間のローテーションで4週間に1回回ってくる程度、関係は良好)と春休みが終わってまた最初に給食で、介助員さんになった時、まったく無表情で知らない人と食べているような雰囲気でした。
- ・乾燥肌がよく体中かいています。かいて血が出ていることもあります。アンジェルマンと乾燥肌との関係とかはありますか？
- ・興味を持つ物はどうしても触りたいようです。部屋の環境などで工夫することがありました教えてください。

- ・本児の笑顔や教師への愛情表現が我々に与えてくれる物はとても大きいです。
- ・研究が進められて、アンジェルマン症候群の方の理解が深められて、今後のよりよい生活に生かされていくことをせつに願います。
- ・よりよい支援や、有効な教育ツールなどがあれば是非情報を頂きたいです。宜しく御願います。

対人関係ができないと出来る事も全ての能力を発揮出来ませんが、対人関係ができてくると以外に理解出来る事も多い様です。(障害から来る物の特徴でもあるのでしょうか)

発声、表情、体の動きで自分の感情を豊かに表現でき、人との関わりを好みます。かかわりのなかでは人をたたいたり、爪をたてたりしてしまったりすることもあります。笑顔やユーモラスな仕草でどこか憎めないところがあります。明るく人に好かれやすい性格が本生徒の長所になっていると思います。

- ・前期の様な良い面を持っていて、人との関わりを楽しむことの大切さを尚平君に教えてもらった様な気がしてます。また、そんな中で意図的に距離感を取りながらけじめをつけ課題にしっかり取り組むことの難しさも一緒に勉強しました。